



つのだまさき 角田正紀 市議会報告

松江市議会特集号

発行所 社会民主党全国連合機関誌宣伝局 週刊(水曜日発行) 〒100-8909東京都千代田区永田町1-8-1 電話代表03(3580)1171振替00140-1-3203 ●定価180円●1ヵ月700円●送料160円

角田正紀応援団/〒690-0023島根県松江市竹矢町1116 TEL0852-37-0683 FAX050-5202-3039 Eメールtunoda-mhey@mable.ne.jp ホームページhttp://www.mable.ne.jp/~tunoda-mhey/index.html

9月市議会報告



6月議会後、角田正紀を囲む会を開催し議会報告をしました。

松江市議会の九月定例会は、二十六日、アスベスト(石綿)調査費などを盛り込んだ三億六千万円の本年度一般会計補正予算案や、松江フォーゲルパークをはじめとする六十二施設への指定管理者制度導入に関する条例案など、百四十六議案が可決されました。松江市在宅福祉サービスセンターや総合体育館、総合運動公園など公共で運営されていた施設が、二〇〇六年四月より競争入札で指定された民間の事業者が運営することになります。現在働いている方たちは運営する事業所に移るわけですが、営利目的の採算ベースで運営されるわけですから、大幅な賃金ダウンになることは目に見えています。小泉構造改革の真のねらいは、民営化や指定管理者制度で賃金労働者の年収を下げるようにして来ています。ニートやアルバイト社員と言われる若い人たちの増加、嘱託社員やパート社員の低賃金化が一段と進んでいますので、生活できる賃金制度確立のために頑張る決意です。

衆議院選挙結果

九月十一日に行われた第四十四回衆議院選挙は、郵政民営化の是非か否かということで行われた選挙ということでした。ふり返ってみますと旧松江市議会の「日本郵政公社の現行経営形態維持を求める意見書」を全議員の賛成で可決し、政府に意見書を提出したはずですが。そして、全国の殆ど自治体で可決された九月十一日に行われた第四十四回衆議院選挙は、郵政民営化の是非か否かということで行われた選挙ということでした。ふり返ってみますと旧松江市議会の「日本郵政公社の現行経営形態維持を求める意見書」を全議員の賛成で可決し、政府に意見書を提出したはずですが。そして、全国の殆ど自治体で可決された

障害者自立支援法の問題点について

福祉部長――市町村審査会にて公平公正な審査が行われると確信している

先の国会で廃案になった障害者自立支援法の問題点についてお聞きします。二〇〇三年四月から、これまでの行政の権限で保護を目的とした措置制度から利用者が必要ならサービスを主体的に選ぶことの出来る、利用契約制度による支援費制度が始まり、身体、知的障害者の施設、在宅の多くのサービスがこの制度に移行しました。この制度改革により、それまで障害者のホームヘルプを実施していた先がなくなった市町村でも実施が増え、これまで制度を利用できなかった多くの人が利用できるようになり、利用量は大幅に伸びました。しかし、厚生労働省はこの制度改革をニーズ調査や予算の増額もせずに進めたため、初年度の十五年度、十六年度とも予算不足に陥る事態になりました。厚生労働省は省内予算の流用や十六年度は補正予算を組んでこの予算不足に対応しましたが、それでも全額をまかな



設定される標準的な費用額に利用者数かけて計算される金額を上限とし「当該上限額を超えた部分は市町村の負担」になると説明しています。松江市ではこの市町村負担部分をどうされるのか問いました。

ALSなど極めて重度な障害者は、生活上二十四時間の介助を必要とします。しかし、それが重度障害者等包括払支援ではサービスが削減される恐れがあります。重度障害者が社会での自立生活を支えるのが、自立支援法の本来の姿です。このことについて松江市の考えを問いました。

日本の人口に占める障害者の割合は2〜4%、欧米諸国では20%近くと言われています。日本の障害者認定の基準が低いため対象者が少なくなっていると言われています。例えば現在の障害認定では、難病の人は状態が変動するという理由で障害者認定がされず、難病等の慢性疾患や高次脳機能障害、てんかん、自閉症等の発達障害者の人たちについて、いわゆる谷間の障

聞いてよ！知ってよ！

危険なプルサーマル計画

中国電力は9月12日、MOX燃料と呼ばれる核燃料を島根原発2号機で使いたいと、島根県と松江市に事前了解申し入れを行いました。

このプルサーマル計画と呼ばれる計画は、日本国内に溜まってしまった約43%のプルトニウムを処理したいという国の方針から、ウラン燃料に混ぜ、普通の原発で燃やそうというものです。

しかし、プルトニウムは長崎型原爆の材料にも使われたことからわかるように、非常に危険で扱いが難しいものです。東京電力や関西電力の計画は、不安に思う自治体や住民からことごとく拒否されてきました。

一体、この計画のどこが問題なのか、元京都大学原子炉実験所講師小林圭二さんをお招きし、お話を聞きます。

「高濃増殖炉のために使うプルトニウムでしょ！」

「フランスとイギリスにため込んだプルトニウムの在庫処理だ！」

「やめろ！」

中電より島根県と松江市に、原発の使用済み燃料から抽出したプルトニウムを混ぜた核燃料を2号機で使用したいとの申し入れがありました。世界中でも危険で撤退している計画を島根原発で使用するとしています。

トピックス

議員報酬が5%減額

議員の報酬が五十万円から四十七万五千円に減額される議案が可決され十月から施行されます。厳しいデフレ不況の中、市長、助役など執行部と議員の報酬が減額されました。

島根町マリン保育所のずさんな建築

完成して半年も経たないのに、天井の梁が折れ、窓のサッシもたないずさんな建築が明らかになり、保育園児は、旧大芦小学校に一時移転して保育をすることになりました。旧島根町の業者との関係が問題になりそうです。

出来ない分について、

出来な分について、市町村が負うことになり、福祉用具など緊急度の低い障害者へのサービスの切り下げにつながる。松江市においてのサービスの状況についても問いました。

福祉部長答弁

ガイドヘルプなどの長時間ヘルパーについては、市町村審査会での公平公正な審査が行われるものと確信しています。

高次脳障害については、関係者の方と可能な限り協議し、支援費制度を検討したいと考えています。



竹矢にデイサービスセンター

06年1月8日(日) 完成式予定

施設見学会 午前10時より
 完成記念式典 午後1時より
 記念講演 元NHK記者 元週刊子供ニュースお父さん役 池上 彰氏
 完成記念パーティー 当施設で予定しております。
 竹矢に高齢者の施設をつくることの公約が果たせました。

編集後記

郵政民営化の是非を問う衆議院選挙が九月十一日行われ、自民党が大勝しました。そして、郵便局には税金がいっさい投入されていないのに公務員が多いという宣伝がされました。今郵政職場では、多くが嘱託職員でしめられています。そして、夜勤の長時間労働や年賀、保険、貯金の勧誘ノルマで、とても長く働くことの出来ない職場になっていると報告されています。さらに、貯金局では大勢の方が働いておられたのに今ではコンピュータオンライン化で殆どの方が配転や退職をして行かれたと聞いています。郵便貯金や簡易保険で郵便局に留保された340兆円ともいわれるお金がどう流出しているのか、地方の郵便局は採算が取れないので撤退していくのが心配です。都市部への人口集中の一方で、地方は少子化に拍車をかけて過疎化の進行と小泉構造改革は、働くものにとつては厳しい時代になることは確実です。働く者の声が届くように頑張ります。

つのだ